

第3回 生活・文化拠点再整備アーバンデザインガイドライン策定委員会
議事要旨

| | | | | |
|-----|--|-------------|----------------|---|
| 日時 | 2022年9月12日(月) 14:00~14:45 | | | |
| 場所 | 藤沢市役所 本庁舎6階 6-1会議室 | | | |
| 出席者 | 委員 | 東海大学 | | 岩崎 克也教授 |
| | | 東京農業大学 | | 西田 正徳客員教授 |
| | | 中央大学研究開発機構 | | 丹羽 菜生機構助教 |
| | | 東京農業大学 | | 福岡 孝則准教授 |
| | 事務局 | 藤沢市 | 企画政策部 企画政策課 | 宮原部長 三ツ井参事、塩野主幹、上原上級主査、 沖山主任、太田主任 |
| | | | 文化芸術課 | 吉原主幹 |
| | | | 都市計画課 | 石橋上級主査、黒木上級主査 |
| | | | 公園課 | 長田課長補佐、小野主査、横手主査 |
| | | | 下水道総務課 | 松本主査、金井主任 |
| | | 株式会社日本総合研究所 | | |
| 資料 | 次第 資料1 委員名簿 資料2 公民連携モデルプランでの検討内容等について 資料3 ガイドライン策定検討資料3 | | | |

※傍聴者 2名

■ 議事内容

1. 事務局あいさつ

- ・ 事務局：本日は 4 名の委員にご出席いただいておりますので、本委員会設置要綱の規定により、開催が成立していることをご報告いたします。この先の議事は委員長にお願いいたします。
- ・ 岩崎委員長：承知しました。

2. 議題

(ア) 公民連携モデルプランの検討内容等について

- ・ 事務局：（資料 2 公民連携モデルプランでの検討内容等について を説明）アーバンデザインガイドラインにつきまして、改めて資料 2 の 2 ページに示す構成案とし、次回の第 4 回の委員会において事務局で作成した素案を基に議論を進めていきたいと考えています。
- ・ 岩崎委員長：ご意見・ご質問はありますか。
- ・ 福岡委員：資料 2 の 1 ページ目に「コンテンツ」という言葉がありますが、別の言葉で置き換えると何になるでしょうか。コンテンツという言葉には色々な捉え方があります。
- ・ 事務局：具体的にそこでやる事業と考えています。ホールであれば市民オペラ、図書館であれば子どもへの読み聞かせ、貸出、レファレンスなどがあります。
- ・ 福岡委員：まずビジョンについてはコンテンツに入る前に全体の前提条件としてとりまとめられ、ビジョンはエリアのコンセプトに落とし込まれるのだと思いますが、コンテンツとコンセプトの関係性について、どのように整理するかは留意する必要があると思います。

(イ) エリアの特徴（分析）について

- ・ 事務局：（資料 3 ガイドライン策定検討資料 3 を説明）
- ・ 岩崎委員長：ご意見・ご質問はありますか。私からまず 1 点、（8）交通の駅利用者数に関して 1 日 40 万人と記載がありますが、コロナ前と後で人数の差が出ているのでしょうか。
- ・ 事務局：この数字はコロナ前になります。確認しますが、コロナ後に減っている可能性はあると思います。
- ・ 福岡委員：11 ページの（5）公園・緑地について、奥田公園と新林公園の間に都市計画緑地がありますが、東西の繋がりを重視するのか、境川沿いの南北の繋がりを重視するのか、最後のまとめでもう少し水や緑、オープンスペースの構造という分析項目を作るとよいと思います。計画中の境川沿いの緑地について、市のお考えがあれば聞かせてください。2 点目は、藤沢市の駅周辺地区再整備基本構想・基本計画の 43 ページに「低炭素型・共生型都市形成の方針図」があり、その中で市民会館の部分に一番大きな丸で「緑の拠点」が示されています。実現したいオープンスペースの構造を明確に示すことで、この場所の質だけではなく、どこに接続していくのかが分かりやすいと思います。人流や自転車の交通量というのは計っていますでしょうか。駅から対象地は少し遠いので、実際

にこの敷地にどうやってアクセスしていくのか、新しい交通を見越したようなデータを取っているのなら教えてもらえますでしょうか。

- ・ 事務局：1 点目について、藤沢市には緑の骨格となる引地川と境川があります。引地川緑地については優先的に事業を進めてきた経緯があり、概ね整備済ですが、境川緑地については多くが未着手の状況にあります。まちづくりを進めていく場合にはこれらのネットワークも十分考慮しながら進めていく必要がありますが、境川緑地の今後の本格的な整備は未定な状況です。
- ・ 事務局：また、人流データについては外部に公開できるものではありませんが、現時点で携帯電話の位置情報を基に活用できるデータはあります。それ以外に直近調査として交通量等に対して把握しているものではありません。
- ・ 福岡委員：自転車のネットワーク図からも外れていますので、人の流れをどう作っていくかが課題であり、拠点ができれば人が来るだろうというのでは弱いと思います。藤沢市はウォークアブル推進都市には入っていますでしょうか。
- ・ 事務局：現時点では入っていません。
- ・ 福岡委員：エリアとしてまとまっていますし、やるべきテーマとしては取り上げやすいのではないのでしょうか。東急ハンズが撤退し、駅周辺の商業の質があまり芳しくない中で、どうやって人の流れを作っていくかは重要です。駅からの人の流れは戦略的に考えないといけないと思います。
- ・ 丹羽委員：6 ページの年代別人口を見ると、対象エリアにおいては子どもの数が少ないようですが、子育て世代に対する取組みは行っているのでしょうか。また、障がいのある方の割合や就労施設の有無も視点として加えていただけるとよいと思います。
- ・ 事務局：市では様々な子育て施策を行っております。対象エリアにおける障がいのある方の割合や就労施設の有無については把握していないため、確認させていただきます。
- ・ 丹羽委員：市として子育て世代にも住んでもらいたいという希望があるという理解でよろしいでしょうか。
- ・ 事務局：ご理解のとおりです。
- ・ 西田副委員長：境川沿いのリニア緑地を計画として位置付けるか否かで敷地の考え方が大きく変わります。今の市民会館は川側が完全に裏になっており、そちらが意識されていない状況ですが、リニアな緑地が他の緑地にしっかりと繋がっていくことで、この敷地が生かせるか生かせないかにも関わってくるので、しっかり調整して考えることが大事ではないかと思います。もう1点、21 ページの「土地利用状況」で、「南口広場や再開発」とありますが、再開発はどのエリアで、どのような内容なのか、分かれば教えてください。
- ・ 事務局：駅前の 391 街区の再開発が計画されており、ここではそれを指しています。
- ・ 丹羽委員：整備する施設は避難場所にもなるという理解でよろしいでしょうか。
- ・ 事務局：ご理解のとおりです。現在の市民会館は指定避難場所になっており、津波避難ビルとして

も指定されています。再整備にあたって防災拠点としての機能を維持していくため、防災部局とも必要な機能の調整、確認を進めています。

- ・ 福岡委員：エリアマネジメントの範囲ですが、駅前とは別の組織を立ち上げて実施することを想定されているのでしょうか。
- ・ 事務局：あくまで駅前が駅前で現在エリアマネジメントの活動をしています。ただし、関係性は検討していく必要があると考えています。
- ・ 福岡委員：秩父宮記念体育館は残ると思いますが、健康やスポーツに関して本事業で何か受け止めるべき課題はあるのでしょうか。
- ・ 事務局：今のところは特に考えていませんが、地区計画では秩父宮記念体育館も含めて生活・文化拠点の地区と位置付けていますので、検討していく必要があると考えています。

(ウ) その他

- ・ 岩崎委員長：その他、ご質問やご提案などはありますでしょうか。
- ・ 福岡委員：資料 3 の内容を踏まえて（12）まとめのところで、計画条件のような、市として重要視していきたいことをまとめられると事業者などにも伝わりやすいと思います。また、今後の再開発でエリアがどう変わっていくかということも示せるとよいと思います。藤沢市は神戸のように駅周辺のマンションの規制などはしていないのでしょうか。
- ・ 事務局：特にしていません。
- ・ 福岡委員：境川緑地について、整備は未定ということでしたが、積極的に整備していくのかそうでないのかは公園課とも調整が必要ではないかと思います。
- ・ 岩崎委員長：よろしいでしょうか。それでは、以上で議題は終了します。進行を事務局にお返しします。

3. 閉会挨拶

- ・ 事務局：（閉会挨拶）

以上